

使用に際して、この説明文書を必ず読むこと。
また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。

痔の痛み・出血・はれ・かゆみに

ボラギノール[®]A 注入軟膏

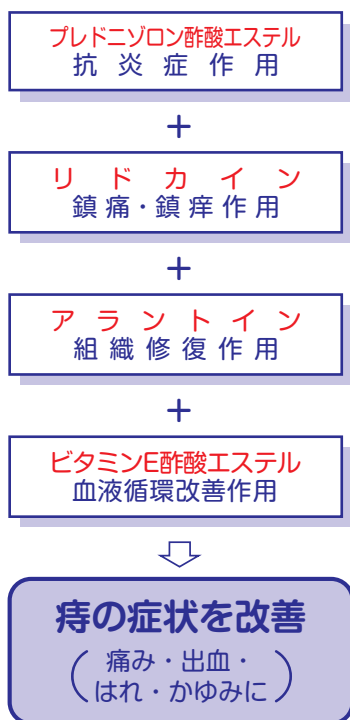
痔 疾 用 外 用 薬

第2類医薬品

特 徴

1. 4種の成分がはたらいて、痔による痛み・出血・はれ・かゆみにすぐれた効果を発揮します。

- プレドニゾン酢酸エステルが出血、はれ、かゆみをおさえ、リドカインが痛み、かゆみをしずめます。
- アラントインが傷の治りをたすけ組織を修復するとともに、ビタミンE酢酸エステルが血液循環を改善し、痔の症状の緩和をたすけます。



2. 肛門内部・外部の痔に使用できる携帯に便利な痔疾用薬です。

- 患部や薬剤に直接手を触れず衛生的に注入できます。

3. 刺激が少なく、なめらかですべりのよい油脂性基剤が傷ついた患部を保護します。

- 患部を傷つけないように、容器先端(ノズル)を丸くしています。
- 白色～わずかに黄みをおびた白色の軟膏です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は使用しないこと

- (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 患部が化膿している人。

2. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
- (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
その他	刺激感、化膿

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

3. 10日間位使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

効 能

いぼ痔・きれ痔(さけ痔)の痛み・出血・はれ・かゆみの緩和

用法・用量

- ノズル部分を肛門内に挿入し、全量をゆっくり注入すること。
(肛門内に注入する場合)

年齢	1回量	1日使用回数
成人(15歳以上)	1個	1~2回
15歳未満	使用しないこと	

または

- 次の量を患部に塗布すること。なお、一度塗布に使用したものは、注入には使用しないこと。(患部に塗布する場合)

年齢	1回量	1日使用回数
成人(15歳以上)	適量	1~3回
15歳未満	使用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- 肛門部にのみ使用すること。
- 肛門内に注入する場合、ノズル部分のみを挿入して使用すること。
- 用法・用量を厳守すること。

成分

1個(2g)中

はたらき	成分	含量
炎症をおさえ、出血、はれ、かゆみをしずめます。	プレドニゾン酢酸エステル	1mg
局所の痛み、かゆみをしずめます。	リドカイン	60mg
傷の治りをたすけ、組織を修復します。	アラントイン	20mg
末梢の血液循環をよくし、うっ血の改善をたすけます。	ビタミンE酢酸エステル (トコフェロール酢酸エステル)	50mg

添加物：白色ワセリン、中鎖脂肪酸トリグリセリド、モノステアリン酸グリセリン

- 注入式のため、容器の中に薬剤が少量残りますが、残量を見込んで充填しています。

保管および取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない涼しい所にキャップをして保管すること。
- 小児の手の届かない所に保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)。
- 使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- 使用済みの容器と袋は、トイレに流さないこと。
- 本剤は油脂性の軟膏であるため、衣類などに付着すると取れにくくなるがあるので注意すること。

包装 10個・30個

本製品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

天藤製薬株式会社「お客様相談係」

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町一丁目5番3号

☎ 0120-932-904

受付時間：9：00～17：00(土、日、休、祝日を除く)

注入軟膏の使用方法

～排便後、入浴後、あるいは寝る前に使用されると効果的です～
【肛門内に注入する場合】

1



キャップをはずし、軟膏をノズル先端部より少し出します。

2



ノズル部分を肛門内に挿入します。

3



ポディーを押ししてゆっくり注入し、押したままで引き抜いてください。

【患部に塗布する場合】



キャップをはずし、清潔な指に患部をおおう量の軟膏を取り、そのまま塗布するか、またはガーゼなどにのぼして患部に貼付してください。



軟膏が硬くて押し出しにくい場合

寒い時期や低温での保管により、軟膏が硬くなった場合は、容器を手で握ってあたためると柔らかくなります。

痔を予防するためのポイント

～健康な生活サイクルを守り、痔を予防しましょう～

- ①便通をよくするため、1日3食バランスよく食べましょう。



- ②おしりはいつも清潔にしましょう。特に入浴は肛門の血液循環をよくします。



- ③排便のとき、無理にいきまないようにしましょう。

